

膝蓋骨脱臼 (評価／治療法選択)

鳥塚 之嘉 (とりつか ゆきよし)

関西ろうさい病院 スポーツ整形外科

膝蓋骨脱臼は、一般的に反復性脱臼、習慣性脱臼、恒久性脱臼、外傷性脱臼、亜脱臼などに分類されている。しかしながら、外傷性脱臼を除けば、完全に別の疾患群ととらえるよりも、膝蓋骨のトラッキングに不安定さを認める一つのスペクトラムを形成しているのとらえる方が理解しやすいと考えている。したがって、ここでは3D コンピュータモデルを使用した解析をもとに、治療の目標を膝蓋骨のトラッキングの安定化におく、内側膝蓋大腿靭帯 (MPFL) 再建術を中心に据えた strategy を提示した上で、成長期の膝蓋骨脱臼の治療について考えたい。特に頻度の高い反復性脱臼では、治療法選択の幅も広いため、様々な問題点の発生にも気を配る必要がある。保存的治療を行っている最中の再脱臼による軟骨損傷の発生や進行は注意すべきであり、また外科的治療をとった場合でも、手術操作での骨端線損傷による変形や、骨孔位置の変化による制動性や可動域の変化などには十分注意する必要があると思われる。そして、成人の場合以上に、安定性が長期間維持できるかどうかや、新たな軟骨損傷の発生や既存の損傷の進行が抑えられるかなど2次的な問題も考慮しておく必要がある。このよう視点から治療方法の選択に言及したい。